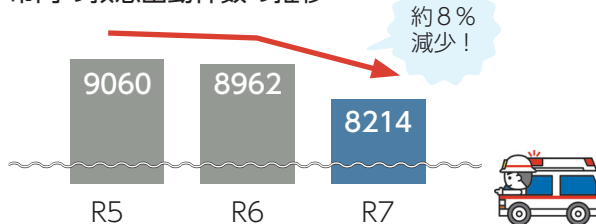


9月9日は**救急の日**、9月6日～12日は**救急医療週間**です！

☎警防救急課(☎029-821-0119)

全国的に救急件数が増加傾向にある中、土浦市では令和6年から令和7年にかけて約8%減少しました。これは市民の皆さんの救急車適正利用へのご協力の成果です。限りある医療資源の確保のため、引き続きご協力をお願いいたします。

市内の救急出動件数の推移



迷わず救急車を呼んでほしい症状の例

- 意識がないとき
- 大量の出血をとまなうけがを負ったとき
- 突然のしびれや、身体の片側に力が入らないとき
- 交通事故や、高所から転落するなどの強い衝撃を受けたとき
- 突然の激しい頭痛や胸痛、腹痛がするとき
- 広範囲のやけどを負ったとき
- ろれつが回らないとき
- けいれんが止まらないとき



救急車を呼ぶか迷ったとき

◆茨城救急電話相談(24時間365日年中無休対応)

- おとな救急電話相談…☎#7119
- 子ども救急電話相談…☎#8000

◆茨城県救急医療情報システム

受診希望科やお住まいの地域から、そのときに受診できる病院を検索することができます。



検索はこちら▶

◆全国版救急受診スマートフォン用アプリ「Q助」

該当する病気やけがの症状を画面上で選択していくと、「今すぐ救急車を呼びましょう」、「緊急ではありませんが、医療機関を受診しましょう」などの、緊急度に応じた必要な対応が表示されます。



ダウンロードはこちら▶ iPhone用 Android用



つちうら防災ノート

☎防災危機管理課(☎内線2292)

頻発する風水害から身を守るために

近年、台風や局地的な大雨が全国各地で頻発し、急な河川の増水や氾濫などによる建物の浸水、土砂災害などが発生しています。統計上、9月は8月と並んで台風の発生数が多く、上陸数は年間で最多です。日頃から気象情報に注意し、避難場所の確認など、身の安全を守る準備をしておきましょう。

土浦市の
防災情報は
こちらから▶



◆秋の台風の特徴

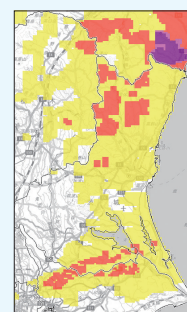
- 夏の台風と比べて動きが速い
- 勢力が強いまま接近しやすい
- 秋雨前線の影響で大雨になりやすい
- 本州を直撃して広い範囲に被害が起こりやすい

台風接近や大雨の際は、気象庁ホームページの「キキクル(危険度分布)」や河川の水位情報などを確認し、少しでも危険を感じた場合は迷わず安全な場所へ避難してください。

◆「キキクル」を活用しましょう

「キキクル」は、雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示するウェブサイトです。表示される情報には土砂災害・大雨・浸水害・洪水害の4種類があります。災害発生の危険度が5段階に色分けして表示され、10分ごとに情報が更新されます。

「キキクル」はこちらから▶



キキクルの表示例